



並木中等story

令和3年7月2日号

自分のワク

今日は岩下栄次先生が著した『人間論・人間関係論』（全日本カウンセリング協会）からの紹介です。“皆さんの眼に映っている像は、一人一人違うのだよ”と話したら、信じますか。言い方をかえると、私たち一人一人は自らの“枠”“色眼鏡”を通した映像が目に映っているのです。それが、評価に大きな差を与えてしまっているのです。例です。Aさんに「〇〇のパンは美味しいよ。」と、Bさんに「〇〇のパンは美味しくないんだ。」



とそれぞれ情報を伝えた上で、同じパンを見てもらいます。見た感想は前の情報が影響し、Aさんには美味しそうに見え、Bさんには美味しそうに見えないのだそうです。また、事前に報道や友達から得た情報で、見方が決まっていたら、目の前の事実を正しく評価できないといえます。前情報に影響されずに、自らの眼で、正しく見て判断することと、人は自らの“枠”でものごとを判断しやすいことを覚えておく必要があります。

祝《令和3年度英語スピーチコンテスト 県議会議長賞等を受賞》

令和3年度第58回英語スピーチコンテストが開催され、本校の青柳さんが県議会議長賞を受賞を、中柴さんが茨城県国際教育研究協議会賞を受賞しました。おめでとうございます。